



令和二年神無月

# 城北中だより

城北中学校教育目標	生徒数
○思いやりのある生徒	1年 156名
○真剣に学ぶ生徒	2年 175名
○健康な生徒	3年 156名
	特別支援学級 7名
	全校生徒数 494名

## 徒然草 ～城ノ北綴～

校長 玉崎 芳行

【9月2日】今日は、生徒会朝礼だった。放送による体育祭に向けた体育委員各学年代表3名と生徒会長が、それぞれの立場や責任をしっかりと受け止め、立派な熱誠を凛々しく表明した。特に、3年生代表と生徒会長の思いに胸を打たれた。“私たち3年生についてきてください！”頼もしい限りだった。運動が得意な人もいれば、苦手な人もいる。声の大きな人もいれば、小さな人もいる。体力のある人もいれば、そうでない人もいる。みんな違って、みんないい。色々な人がいての「チーム城北」。互いを称えあい、笑顔があふれる体育祭としてほしい。あなたを信じている。

【9月11日】体育祭無事終了。開会式での選手宣誓、本当に感動した。降壇後、涙が零れそうになり、凛と整列した皆に、暫し背を向け、天を仰ぐしかなかった。グラウンドには、チーム城北の真剣な眼差し、必死の形相、輝く汗、はじけるような笑顔、仲間を鼓舞する大声、肩を抱き称えあう後姿が…刻まれた。満ち足りた優しく温かい空気に包まれながら、仲間とともに真っ赤に日焼けしたあなたの満面の笑みに溢れるクラス写真が、どの教室にも新たに飾られるであろうことを、私は確信した。あなたの本気を、チーム城北の底力を力強く感じた。閉会式での体育委員代表の挨拶に再び感動。

【9月17日】いよいよ新人戦が近づいてきた。壮行会も今年は放送によるものとなった。各運動部新部長の滾る情熱と決意が校舎中に響き渡った。学総が中止となった3年生への思いや新チームの仲間への感謝が込められた“自分たちのことば”であった。会の最後に、私は、こう結んだ。

「いよいよ来週から、2年生、そして1年生による新人戦が始まります。昇降口に、写真を掲げました。昨年の新人体育大会のものです。1年生は、昨年をつぼみの日に、本校体育館で見た記憶が残っている人もいるかもしれません。

今の3年生を中心に撮ったものです。潔く、迷いのない太刀さばき。己の限界に挑む跳躍、力走、投てき。どんな相手にも真っ向勝負で挑むドリブル。唇が渇くくらいの緊張に包まれるサーブ。そして、その後に訪れるのは、自己ベスト更新の瞬間であったり、勝利をつかみ取り、仲間と共にもみくちゃになって喜びを分かち合った瞬間であったり、後悔と反省を迫られた瞬間であったり、誰もいないところで涙をこぼした瞬間であったり、今までの自分を越えた瞬間であったりします。

3年生は、そんな『かけがえのない瞬間』を知っています。その3年生が引退する際、1、2年生の皆さんはどんな思いを、どんなバトンを、どんな伝統を受け継ぎましたか。チーム城北の代表だという誇りを持って試合に臨み、あなたを応援する全ての人に感動を与えてください。各部の部長による大会に向けての決意は、どの部も大変立派でした。大いに期待しています。大丈夫！あなたなら、きっとできる！」と。

“いざ、新たな伝説の幕を開けん！”